安倍暴走政治から市民を守る

いのち・くらし一番の市政へ

あなたもごいっしょに

くらしや営業の相談をたくさん受けてきました。その切実さに触れるたびに、税金の使い方を「市民のいのち・くらし一番」に切り替えれば、どれほど希望が開けるだろうと痛感します。

超豪華な市民文化ホールを市民のみなさんの世論と結んで白紙に戻すことができたように、市政を動かすことができる！との思いを強くしています。ご一緒に力を合わせましょう。

青木永六 検索

市議会議員 あおき えいろく

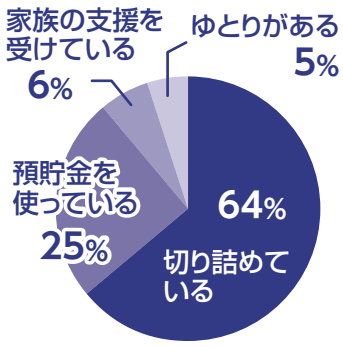
青木 永六

日本共産党

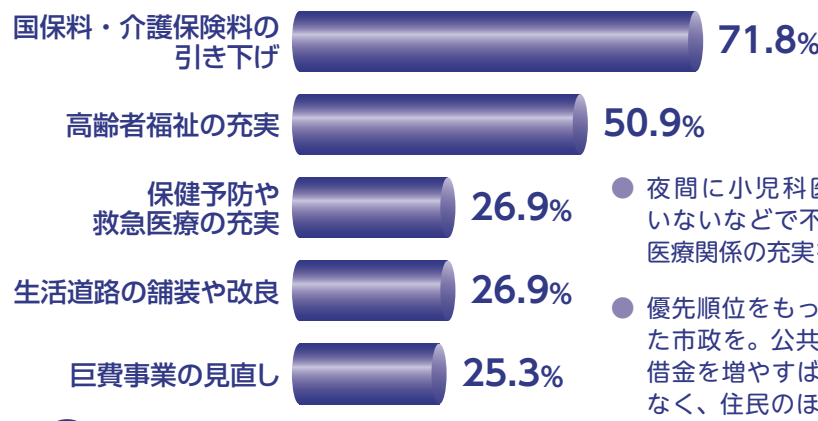
プロフィール●1950年生まれ。県立三島高校商業科卒業。71年、宇摩民主商工会の創立に参加し、翌年から98年まで事務局長。98年、伊予三島市議に初当選。04年から合併に伴う四国中央市議（４期目）。環境経済委員、議会改革調査特別委員、議会運営委員。宇摩民主商工会相談役、元愛媛医療生活協同組合理事、愛媛医療生活協同組合寒川支部副支部長。党市議団長。趣味はスポーツ鑑賞。寒川町1294在住。

日本共産党のアンケートより

今のくらしは？



市政に何を望みますか？ 複数回答・上位5項目



アンケートの声から

- 介護保険料の負担が重すぎる。再考の余地あり。
- 生活弱者の救済。低所得者のことも考えてほしい。
- 夜間に小児科医がいないなどで不便。医療関係の充実を。
- 優先順位をもっと考えた市政を。公共施設で借金を増やすばかりでなく、住民のほしいものに税金を使うべき。
- 小中学校にエアコン設置と洋式トイレ化を急いで欲しい。
- 図書館の静かな環境と学習スペースを確保して欲しい。（土居）
- 市の西部地区に充実した総合病院の建設がどうしても必要。

切実な願いをしっかりうけとめ 提案します

医療・福祉

- 中核病院の早期建設
- 国保料の１人１万円の引き下げ
- 介護保険料・利用料の引き下げ
- デマンドタクシーの改善
- 国民年金で入れる老人施設の建設

地域経済

- 市発注の事業にまともな労働条件と賃金を保障する公契約条例の制定
- 入札の予定価格事前公表制度は止めよ
- 中小企業振興条例の制定で地域振興
- 住宅リフォーム助成制度の充実

子育て

- 学校給食は温かくておいしい自校方式を（三島給食センター建て替えは緊急避難）
- 高校卒業まで医療費無料化
- フリースクールへの支援

税金の使い方

- 公共施設建設はムダを徹底的になくし財政状況に見合ったものに

財源はあります

- ☑ 68億円もの財政調整基金（2014年度決算）
- ☑ 県下１位の財政力
- ☑ 製紙大企業への富郷ダム工業用水の補助金１億円が2017年度から不要に

民報 宇摩 2016年７月号外 発行／日本共産党四国中央市委員会 【連絡先】寒川町 1294 ☎0896-23-5838 ● 日本共産党四国中央市委員会の見解を紹介します。